
入試紹介 A0II期

— 医学部医学科3年 須田朱音 —

目次

1. AOII期とは
2. 配点・試験の特徴
3. 入試対策
4. まとめ

目次

1. AOII期とは
2. 配点・試験の特徴
3. 入試対策
4. まとめ

A0II期とは

- ・募集人数 15人
- ・出願:10月中旬～

・試験日程: **第一次選考 11月上旬**

筆記試験①(数理的思考力の評価)

筆記試験②(自然科学分野の基礎的理解度
と論理的思考力の評価)

筆記試験③(医学に関わる学問への関心及
び英文理解力・英文表現力な
どの評
価)

第二次選考 11月下旬

面接試験(小作文あり)

A0II期とは

・必要書類

- ①入学志願書(所定用紙)
- ②志願理由書(所定様式)
- ③活動報告書
- ④英語の資格・検定試験の成績証明書
- ⑤調査書

A0II期とは

アドミッション・ポリシー

人を対象とする生命科学や医学・医療に関わる学問に強い関心を持ち、旺盛な探究心と創造的な思考力と高い倫理観を有する人を求めています。東北大学で学部・大学院教育を受けることを希望し、大学や研究所で**研究医として**世界的な活躍をめざす情熱と積極性を有する人を歓迎します。筆記試験、書類審査、面接試験によって、医学・医療に関わる学問への**関心、探究心、思考力、倫理観、英語で話すための基礎的な能力**などを評価します。

A0II期とは

選抜方法

筆記試験では、**理数系の基礎的理解度**に加えて、**医療系分野に深い関心を持ち****高度な英文を読み解く能力**、**論理的かつ多面的な思考力**、**表現力**、**作文能力**などについて評価します。出願書類については、高等学校の教科成績のほか、学校内外の様々な学習成果や活動実績、資格等(英語の資格・検定試験など)を評価します。面接試験では、実施前に小作文を課します。面接では、**医師や医学研究者としての適性**、**英語で話すための基礎的な能力**を評価します。また、科学研究に関する活動を主体的かつ継続的に行ってきた経験がある場合には、面接の際にその成果や活動について発表の機会を与えて評価します。なお、小作文は面接の参考資料として用います。

目次

1. AOII期とは
2. 配点・試験の特徴
3. 入試対策
4. まとめ

配点

選考

すべての志願者を対象に、筆記試験及び出願書類の内容の審査により第1次選考を行います。第1次選考合格者にのみ第2次選考として面接試験を行います。その結果と第1次選考で実施した筆記試験の結果を総合して合格者を決定します。

	筆記試験	出願書類	面接試験	合計
第一次選考	600	150		750
第二次選考	300		150	450

第一次選考の成績を圧縮

試験の時間割

9:30～10:50 (80分) **数学** 大問3つ

お昼休憩

13:00～14:20 (80分) **理科** 大問2~3つ × 2科目

15:20～17:20 (120分) **英語** 大問3つ

※休憩時間は長いですが、参考書を出せる時間は少ない

試験の特徴

解答は記述式で問題数が多い

→全範囲の基礎固め、問題演習に早い時期から取り組む

試験は11月実施

→共通テスト対策と同時並行で対策する

目次

1. AOII期とは
2. 配点・試験の特徴
3. 入試対策
4. まとめ

試験対策 数学

一番最初の科目

→朝に頭を使う練習を

範囲は数学Ⅲまで

問題数は多いが、基礎的な問題が多い

→速く、正確に解く練習、絶対に取りこぼさない

試験対策 理科

2科目分を同じ試験時間内で解く

→自分の得意分野から解答していく、(個人的には一番時間が足りなかった)

図示問題や、珍しい分野からの出題、英語での出題など奇抜な問題が多い

→公式の本質的な理解、全範囲さまざまな分野の問題演習

試験対策 英語

圧倒的な分量に加え、難易度の高い問題が多い

→速読の練習

全ての問題に手をつけ、完答よりも全ての問題で部分点を狙う

高度な医学的知識、背景

→医学系の単語に加えて医学の問題についても関心を持つ

試験対策 小論文・面接

過去問がない

→一般的な小論文の書き方をマスター

医療系の問題について自分の考えを持つ

午前に小論文、午後に面接

→人によって面接までの待ち時間が長いので、

自分の考えを整理したり、参考書を見たり計画的に過ごす

目次

1. AOII期とは
2. 配点・試験の特徴
3. 入試対策
4. まとめ

まとめ

基礎力なくして応用力なし！

早期完成を目指してたくさん問題演習を